

## 東洋大学社会福祉学会活動報告

### 【2022 (令和4) 年度】

※第16回大会が、2022年8月7日 (日) 125記念ホール (8号館7階) にて開催された (オンライン併用)。プログラム内容は以下の通り。

大会テーマ『反抑圧的ソーシャルワーク (AOP) の理論と実践』

総合司会：佐藤亜樹会員

(東洋大学社会学部社会福祉学科准教授)

13:00～13:05 開会挨拶

(伊奈川秀和会員：東洋大学社会学部社会福祉学科・教授)

13:05～14:00 博士号取得者による発表

清水冬樹会員

「中高生世代の子どもへの社会福祉支援に関する研究～東日本大震災における子ども参加を手がかりにして～」(社会福祉学)

橋本理子会員

「埼玉県における社会事業形成に関する地域福祉史研究」(社会福祉学)

麗麗会員

「中国・内モンゴル自治区農牧地域における農村留守児童への支援に関する研究～農村寄宿制学校の子どもの調査を手がかりにして～」(社会福祉学)

14:00～15:00 基調講演「反抑圧的ソーシャルワーク (AOP) —日本のソーシャルワーク実践、教育への導入の可能性と課題—」

茨木尚子氏

(明治学院大学社会学部社会福祉学科教授)

15:00～15:10 休憩

15:10～16:10 シンポジウム「AOPから考える学校や学校外の子どもの支援」

岡安朋子会員

(東洋大学社会学部社会福祉学科助教)

「多職種連携を促進する校内システム構築—スクールソーシャルワーカーの実践より—」

小野道子会員

(東洋大学社会学部社会福祉学科准教授)

「パキスタンにおける【路上】で働く【ベンガリー】の子どもの安全保障—AOP

の視点から考える」

16:10～16:55 全体ディスカッション

コメンテーター：茨木尚子氏、森田明美会員 (東洋大学名誉教授)

16:55

閉会挨拶 (加山弾会員：東洋大学社会学部社会福祉学科・教授)

※第18回総会が、第16回大会同日2022年8月7日 (日) 12時より125記念ホール (8号館7階) にて開催された。

1. 会員数について：182名 (2022年3月現在)

2. 2021年度の会計・事業報告がなされた。

(ア) 会計報告：2021年度会計の決算が報告・承認された。

(イ) 事業報告：ニュースレターの発行 (年3回)、東洋大学社会福祉学会第15回大会開催 (2021年8月21日)、機関誌『東洋大学社会福祉研究』第14号 (2021年12月) の発刊が報告された。

#### ●総会報告事項

2022 (令和4) 年度の事業計画案 (機関誌『東洋大学社会福祉研究』第15号の発行、ニュースレター (年3回) の発行、東洋大学社会福祉学会第16回大会 (2022年8月7日開催) が報告された。

#### ●総会審議事項

※ [会則：第10条] に基づき下記の役員改選報告が行われた。

[現在の体制] ○：改選

役員 (顧問)：坂口順治 先生・天野マキ 先生  
・古川孝順 先生

会長：秋元美世⇒○伊奈川秀和 (本学教授)

事務局長：荻野剛史⇒○佐藤亜樹 (本学准教授)

会計監事：熊田博喜 (武蔵野大学教授)

理事 (研究大会担当)：

戸井宏紀⇒○小野道子 (本学准教授)

理事 (機関紙担当)：

佐藤亜樹⇒○戸井宏紀 (本学准教授)

理事 (財務担当)：

藤木 (越前) 聡美 (本学実習助教)

理事 (学会ニュース担当)：

洪心璐 (本学実習助教)

岩田千亜紀 (本学助教)

⇒○岡安朋子 (本学助教)

理事（同窓会担当）：

後藤広史（立教大学教授）

相馬大祐（福井県立大学准教授）

理事（HP担当）：

小櫃俊介

（一般社団法人ORINAS・代表理事）

理事：藪長千乃（本学教授）

追記：2021（令和3）年度3月25日～4月3日の総会（郵送）にて、『東洋大学社会福祉研究』の投稿規程の「3. 原稿の枚数」の変更が審議され、承認された（【12,000字、図表を含む】以内 → 【20,000字、図表を含む】以内）。